

図書館通信

市貝町立図書館
〒321-3423
栃木県芳賀郡市貝町 市塙147
TEL 0285-68-4380
URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

とよかんのひとりごと ブログはこちら

第61回全国こどもの読書週間(4/23~5/12)
イベントまだまだありますよ♪

ツイッターでも
情報配信中!



市貝町立図書館『いっとくん』
@ittokun_ichikai

●かるた大会
日時:5月5日(日)14:00~
場所:1階おはなしコーナー
内容:市貝図書館オリジナルかるたで遊ぼう!
優勝者には500円分の図書カードをプレゼント★
※小学生未満のお子様は親子でご参加ください。


●動いて・楽しむ 読み聞かせ「おおきなかぶ」
日時:5月12日(日)14:00~(30分程)
場所:1階おはなしコーナー
内容:読み聞かせと小劇で楽しむ参加型おはなし会。
みんなでおおきなかぶを抜こう!

●こども読書ビンゴ開催中
期間:5月12日(日)まで
内容:本をたくさん借りてビンゴのマスをクリアしてね。達成するとプレゼントがもらえるかも★

●ダンボの会のおはなし会(乳幼児から参加OK!)
日時:5月26日(日)10:30~(50分程)
場所:1階おはなしコーナー
内容:絵本の読み聞かせ・手遊び・パネルシアター
折り紙など幅広く楽しめます。お父さん・お母さんもぜひ、お子さまとお楽しみください。

お問い合わせ:市貝図書館 ☎68-4380

●歴史民俗資料館の催し
第35回企画展『平成の思い出』
期間:4月27日(土)~6月9日(日)
内容:平成にまつわる展示を行い、
平成元年から31年までを振り返ります。
お問い合わせ:中央公民館 ☎68-0020

 新元号『令和』制定記念
いっとくんオリジナル缶バッジ
できました♪

5月1日(水)から配布開始します。
図書館の本・CD・DVDを借りるともらえるよ。
コレクションの1つに加えてね!
みなさまにとって令和の時代が
良い時代になりますように★

時に、初春の令月にして、
気淑く風和ぎ、
梅は鏡前の粉を披き、
蘭は珮後の香を薫す…



「令和」の典拠となった「万葉集」も
図書館にあります。
これを機会に古典や和歌に親しんで
みてはいかがでしょうか…

図書館カレンダー (■…休館日)

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

※月末資料整理日



新元号「令和」の由来は『万葉集』



これまでの元号は中国の古典が用いられていて、日本の古典が元号に選ばれたのは、初めての事です。万葉集とは、今から1200年前につくられた日本最古の和歌集です。『万葉集』には、天皇から一般庶民にいたるまで様々な階級の人々の歌4536首が集められており、古代日本人の心の原点を垣間見ることが出来ます。現代の私たちにとって文学的でもあり、美しい言葉と言えるでしょう。この機会に万葉集について調べてみるのも楽しいと思います。

万葉集巻五、梅花の歌三十二首の序文から引用され、書下ろし文が「初春の令月にして気淑(きよ)く風和(なご)ぎ、梅は鏡前の粉を披(ひ)き、蘭(らん)は珮後(はいご)の香を薫(かお)らす」そして、現代語訳を通して、意味を知ることができました。人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育ち、梅の花のように、明日への希望を咲かせる国でありますようにと願いが込められている「令和」…新しい時代の始まりに夢も膨らみます。



決定! 2019年本屋大賞

大賞 『そして、バトンは渡された』
瀬尾 まいこ/著 (文藝春秋)

本屋大賞コーナーを
設置しました。
ぜひご覧ください★



2位 『ひと』

小野寺 史宜/著 (祥伝社)

3位 『ベルリンは晴れているか』

深緑 野分/著 (筑摩書房)

4位 『熱帯』

森見 登美彦/著 (文藝春秋)

5位 『ある男』

平野 啓一郎/著 (文藝春秋)

スタッフのおすすめ

今月ご紹介するのは、2019年本屋大賞
2位の作品です。著者は、オール讀物新
人賞、ポプラ社小説大賞優秀賞を受賞
してデビューとなった小野寺史宜氏。

「ひと」 小野寺 史宜/著
(祥伝社)

◆あらすじ◆

主人公の柏木聖輔は17歳の時に父を亡くし、20歳で母も亡くした。

独りきりになってしまったという事実、心の整理もつかぬまま過ぎていく日々。

そんなある日、聖輔が街をぼんやり歩いていると揚げ物のいい香りが運ばれてきた。

空腹に負け聖輔は総菜屋に吸い込まれていく、新たな出会いがあるとも知らずに…。

孤独になり下を向いてしまった聖輔が、周囲の人に支えられながらまた上を向いていく青春物語。「ひと」との繋がりの大切さをしみじみと表現した1冊。

しょうちゃんのひとりごと



天皇陛下の譲位に伴い、新しい御代で使われる元号が「令和」に決まった。大化から令和まで248の元号があって、それに使われた漢字はわずか73文字だそう。私も前に書いたように、正月に2文字をいくつか考えてはみたが、「令」の字は全々考えてもいなかった。でも、発表になった時、音感もよく、優雅な気持ちになって心に響くものがあったのは私だけではなかったと思う。令和は和を令する、つまり「平和であるように心を尽くしなさい」と理解できるように思えた。平成は災害こそ多かったが、昭和のように人の力によって大勢の人間を殺したり、殺されたりすることなく過ごすことができた。twitterもインスタグラムも平成元年にはなかった。しかし、平成の終わりではAIやコンピューターシステムなどあらゆるものが猛スピードで私たちに追いかけてきている。どんな時代が来るのか、私ら凡人にはわかるはずがないが、平成が令和になろうと改元で世の中の動きがすぐ変わるものではない。社会を作り歴史を刻んでいくのは、今を生きる私たち一人ひとりであって、そのことは肝に銘じておきたい。安倍首相は「日本人の心情に溶け込み、日本国民の精神的な一体感を支えるもの」と元号を説明して理解と協力をもとめたが、人々はどう受け止めたであろうか。